12月 保育所だより

令和６年１１月２９日
桑折町醸芳保育所

１１月の感染症の状況は、新型コロナウイルス・ヒトメタニューモウイルス・マイコプラズマ肺炎・手足口病・感染性胃腸炎（ノロウィルス）と種類は多いものの、子どもたちの間には広がらず、単発的な発症となっておりました。しかしながら、原因が特定できない急な発熱や嘔吐・下痢等の病気が子どもたちの中で広がりました。今後冬期を迎えるにあたり注意しなければいけない感染症は、感染性胃腸炎（ノロ・ロタウイルス)、季節性インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、RS ウイルス感染症です。特に、マイコプラズマ肺炎は、現在全国的に８年前に大流行した水準になっているという報道がされています。また、インフルエンザとマイコプラズマ肺炎のダブル感染で重症化を引き起こすケースも出ているとのことです。保育所としましては、保護者の皆様とお子様の情報をしっかり共有し、子どもたちを守って参りますので、今後もご協力をよろしくお願いいたします。

さて、１２月が近づくにつれ、一雨毎に気温が低くなったり、風が冷たくなったりしてきました。着実に厳しい寒さの冬に向かっている感がいたします。そんな中、保育所の子どもたちは冷たい風に驚きながらも、戸外で元気に走り回っています。１２月は、雪が降ったり、クリスマスパーティーをしたり、子どもたちにとって楽しいことがたくさんです。一人ひとりの気づきや喜びを大切にかかわっていきたいと考えています。

＜今月の保育の目標＞

０歳児

○　寒さに負けずに元気に過ごす。
○　身体をたくさん動かして遊ぶ。

１歳児

○　ひとりひとりの体調に留意し、寒い時期を元気に過ごせるようにする。
○　戸外遊びや散歩に出かけ、体を動かしたり秋の自然に触れたりすることを楽しむ。
○　身の回りのことに興味を持ち保育者と一緒に少しずつやってみようとする。

２歳児

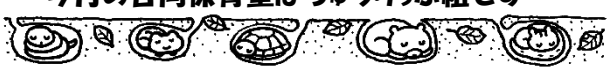
○　体調に十分に気を付け、寒い時期を元気に過ごす。
○　ごっこ遊びや見立て遊びを通して、言葉のやりとりをしながらイメージを広げて楽しむ。
○　簡単な身の回りのことを自分でしようとし、できた嬉しさによって自信をもつ。

＜１２月の行事予定＞

６日（金）　エプロンさんお話会
１９日（木）　誕生会
２３日（月）　クリスマス会
２４日（火）　避難訓練
２８日（土）　保育納め
２９日（日）～１月３日（金）年末年始休業

＜１月の主な予定＞
４日　保育開始
２３日　誕生会
２７日　避難訓練

今月の合同保育室はちゅうりっぷ組です



＜保育所からのお知らせ・お願い＞

【ウエットティッシュ・箱ティッシュについて】

クラスで使用するウエットティッシュ（ノンアルコール）と箱ティッシュを集めます。一人一袋・一箱名前を書いて担任へお渡しください。ご協力お願いいたします。

【歯科検診結果】

結果は、歯科健康診断結果書のとおりです。当日欠席された方は、齋藤歯科医を予約の上、検診を受けてください。

【PTA 会費納付日】

ＰＴＡ会費の３期分（12・1・2・3 月分）を集金します。１２月９日（月）までに、お納めください。一年分納付済みの家庭には、集金袋は配布しません。

【インフルエンザの出席停止について】

出席停止期間

	発症(O)	１日目	２日目	３日目	４日目	５日目	６日目	７日目	８日目	９日目
発症後１日目に解熱した場合	発症 発熱	解熱	解熱後 １日目	解熱後 ２日目	解熱後 ３日目		登所 可能	※発症後５日間たたないと登所できない。		
発症後３日目に解熱した場合	発症 発熱	→	→	解熱	解熱後 １日目	解熱後 ２日目	解熱後 ３日目	登所 可能		
発症後５日目に解熱した場合	発症 発熱	→	→	→	→	解熱	解熱後 １日目	解熱後 ２日目	解熱後 ３日目	登所 可能

インフルエンザに感染した場合には、医師の診断を受けて、「発症後５日を経過し、かつ解熱後３日（学校は２日）を経過するまで」出席停止となります。コロナウイルス感染症した場合には、医師の診断を受けて、「発症後５日を経過し、かつ症状が快活した後１日を経過するまで」出席停止となります。

＜各クラスより＞

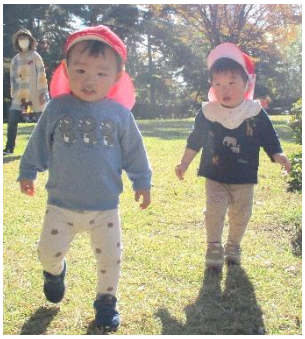
たまご組

11 月は、一人で歩行できるようになったお子さんも、ハイハイやずりばいができるようになったお子さんも、みんなが伸び伸びと遊べるように、遊戯室で遊ぶことが多くありました。いつものたまご組から、広い遊戯室へ移動して遊ぶと、大きいクラスのお兄さんお姉さんの大きな声や走る音に慣れずに泣きだしてしまう子さんもいましたが、徐々に慣れて、楽しく過ごせるようになってきました。大型遊具のトンネルに入ってみたり、滑り台に登ってみたりと、好きなところに動いて、楽しんでいます。また、同じ遊戯室で遊ぶお兄さん、お姉さんたちがたまご組の子を見つけるなり「かわいい赤ちゃん！」「だっこした～い」などと言ってあやしてくれます。そんな縦割りの関わりも保育所ならではの良いところですよね。

ちゅうりっぷ組

天気の良い日には戸外に出て、所庭でたくさん遊ぶことで、滑り台も上手になってきました。一人で階段を登り、一人で滑ろうとするお友達もいます。怪我のないように見守りながら、自分でやろうとする気持ちも大事にしたいと思っています。スイングバイキング

に乗ることも楽しいようで、登ったり下りたり長いこと遊んでいます。赤くなった葉っぱを見つけたり、ドングリを拾ったり、秋の自然を感じながら、散歩を楽しむことができました。遊戯室や室内でもたくさん走ったり、ダンスをしたり楽しい時間を過ごしています。寒くなってくる１２月もできるだけたくさん動いて遊べるように工夫していきたいと考えています。



【→陣屋の杜をお散歩】

すみれ組

【↑ふれあい公園でおやつ】

11 月になり急激に気温が下がり寒い日が続きますが、衣服の調整をしたり外に行くときは上着をきたりして元気いっぱい過ごしています♪散歩では少し遠出をしてふれあい公園や桑折駅まで行けるようになりました。保育士と手をつないだりお散歩カートに乗ったりして「どんぐりころころ」や「とんぼのめがね」など秋の歌を一緒に歌いながら楽しくお散歩しています。これからも天気の良い日はお散歩にたくさん行きたいと思っております！

お部屋ではポポちゃん人形やままごと遊びをお友達や保育者として楽しんでいます。少しずつお友達と一緒に遊べるようになってきて成長を感じます。

ゆり組

所庭の落ち葉を集めて落ち葉の上を歩いたり、パ～ッと散らしたりして遊びました。「おっきい葉っぱ！」「あかい葉っぱ！」など拾った葉っぱに穴が開いているのを見て「うわ～！お化けだ～!!」「お化け～お化け～」と、子どもたちの声が聞かれました。赤や黄色の木の実を見つけては、所庭のテーブルに並べて遊んでいました。天気の良い日は、種徳公園や電車を見に散歩に出掛けました。カートを利用して『ふれあい公園』まで出かけ広い芝生の上でかけっこをして楽しんできました。また、行きたいと思っています！

【ふれあい公園でよーいドン！→】

ひまわり組

【↑落ち葉の感触気持ちいいね】

種徳公園、陣屋の杜公園、ふれあい公園、消防署など、色々な場所に散歩に出かけました。散歩先では、広々としたところで走ったり、秋の自然に触れたりして、のびのびと過ごしました。公園で拾ったドングリを持ち帰り、ドングリ転がしやドングリおままごとなどに使って、楽しく遊びました。また、落ち葉を見つけると「赤いね！」「きれい！」と言って、大事そうに持ち歩いたり、気持ち良さそうに落ち葉プールに入ったりする姿が見られました。だんだんと冬に近づき、寒くなってきますが、体調に気を付けて過ごしていきたいと思います。

さくら組

天気の良い日は散歩に出かけ、どんぐり拾いを楽しみました。帽子をかぶっているどんぐりや、小さいどんぐり、きれいなどんぐりなどを見つけ、子ども達なりに違いを発見することをとても楽しんでいました。「見て、帽子かぶっているよ」「（袋が）重くなったでしょ」「ちっちゃいね、あかちゃん(どんぐり)だね」など子ども達の言葉の表現ものびのびとしていて、楽しく保育者に伝えにきていました。拾ったどんぐりを保育所に持ち帰り、所庭で遊ぶと、テーブルを転がる様子を見て楽しんだり、バケツに入れて振って音を聞いたりと様々な楽しみ方をしていました。どんぐりで遊ぶだけでなく、バケツをどんぐりの帽子に見立てて、子ども達自身がどんぐりに変身してどんぐりのように築山を転がって遊ぶ子とも楽しみました。たっぷり自然に触れて遊ぶことを楽しむことができました。

【↑まつぼっくり転がし】

家庭生活ポイント　　「生活リズム」「あいさつ」「読書」・・より

グローバル社会で生き抜くために伸ばしたい、"５つの力"④

５　自己肯定感を高める

内閣府の調査では、日本人の自己肯定感は諸外国と比べて低いということが分かっています。そもそも自己肯定感とはなんなのでしょうか。私は自己肯定感とは、「私はここにいるだけで素晴らしい！」と思えることだと定義しています。なにかができるから素晴らしい、できないから自分はダメな人間だ、ではなく、“ただ存在するだけで素晴らしい”と思えることが大事です。そして子どもがそう思えるようになるためには、親が毎日愛情を子どもが見える形、五感で感じられる形で伝えることが必要です。「あなたが大好き！」「あなたがいてくれて、とっても幸せ！」言葉にしながらこどもをぎゅっと抱きしめてみましょう。毎日数分で良いのでぜひ実践してみてください。大好きな親に自分の存在を認めてもらう経験をすることで、こどもは自分自身を信頼し、大切にすることができるようになります。そして「私はここに存在するだけで素晴らしいのだ！」という自己肯定感が高まります。

おわりに

さて、ここまで５つの力を伸ばすことが大切だとお伝えしてきましたが、何も「６歳までに英語をまったくやらせるな」というわけではありません。“多様性を楽しめる心”を育てるためにも、英語に触れることは良いことです。将来の英語力に繋げるためには、子どもが「英語って楽しい！」と思えるようにすることをおすすめします。これから先行き不透明な時代を生きていくこどもたち。「だからこそ、英語力をはじめどんな時代になっても生き抜いていけるように、様々なスキルを身に付けさせてあげなくちゃ！」と焦ることもあると思います。しかし、どんな時代になっても生き抜くために大事な力、必要とされる力とは、「人としての基本的な力＝人間力」なのです。６歳までは人間力の土台を築く大事な時期です。ぜひこの時期には様々なスキルを身に付けさせるよりも、人間力であるこの５つの力を伸ばすことを意識して、実践していただけたら嬉しく思います。

出典：河合薬業株式会社発行　健康教育 No.１９２